

見た目は学校、中身は水族館。聞いただけでわくわくする場所が室戸市にあります。子どもたちが通わなくなった小学校を使って、2018年にオープンした「むろと廃校水族館」です。

特ちょうは室戸の周りにいる魚や生き物を展示していること。その数100種2千びき。ほ

とんどが地元の漁師さんから分けてもらったものです。室戸市は漁業がとても盛ん。中でも、海の中に大きなあみをしかけて魚をとる「定置あみ漁」が昔から行われてきました。

漁がある時は水族館の人が毎朝漁港に行って、とれた魚などを見せてもらっているそう。展示する魚や生き物は定期的に入れかえ、め

ずらしい生き物を見つけたらしょうかいしています。その時々室戸の海の様子を知ることができる、みりよくいっぱい水族館です。

10月、学芸員の千原周さん(29)に水族館にいる生き物たちをしょうかいしてもらいました。いっしょに室戸の海をのぞいてみよう！
(横山仁美)



室戸の海のぞいてみよう！

in むろと廃校水族館



コブセミエビ

体長およそ35センチ。見た目は岩のよう。漁師さんも「これは太い！」とおどろく大きなセミエビのなかまです。よくゾウリエビを背中に乗せて、のんびりしています



イセエビ

高級食材として有名なエビ。室戸沖ではイセエビのさしあみ漁が盛ん。9月の中旬ごろに解禁され春ごろまでとれます



アオウミガメ

海そうなどを食べるので、あまりあごの力が発達しておらず、スマートな顔つきをしています。水族館では定置あみに入ったウミガメを保護して海に返しています。今はアオウミガメもふくめて4種類のウミガメがいます



テンジクザメの赤ちゃん

高知県や徳島県はテンジクザメの一大産卵地。6月ごろになると、たくさんやって来ます。この赤ちゃんは、水族館のプールに産みつけられた卵からふ化しました



ウツボ

こわい顔つきから呼び名は「海のギャング」。でも実はとてもおくびょうなんだとか。高知県ではスーパーにも並ぶ身近な魚です

ゾウリエビ

ぞうりのようなユニークな形をしています。歩く時に使うあしが短く、とてもかわいらしい



ホシエイ

おなかの部分が顔みたいでかわいいと人気。目のように見えるところは鼻。基本的に海底でじっとしているので、目は背中側にあります



アカエイ

おなかのふちのオレンジ色が特ちょう。沖縄以外の広い地域に生息していて、尾の付け根のとげに強い毒があります



ゴンズイ

海に進出したナマズのなかま。主に幼魚の時、「ゴンズイ玉」と呼ばれる群れを作ります



ボラ

都市部の海や川にも生息し、群れで見ることが多い魚。水質の変化に強く、よごれた川にも多くいます。昔は食用として盛んにとられていました

海の現実 ありのままに



つりばり

レジぶくろ

あみ

生き物たちといっしょに展示されているのが「新しい海の仲間たち」。オサガメの腸から出てきたレジぶくろ、サメの胃からでてきたあみ、ウミガメにかかっていたつりばりなどが並んでいます。

くわしい説明板は置いていません。海のありのままの現実を見てもらうことで、みなさん一人一人に考えてもらえたらという思いからです。

身近な生き物とふれ合って



学芸員の千原周さん

ここにいるのは室戸の周りでとれた海の生き物ばかり。水族館が成り立つほど、室戸の海にはたくさんの生き物がくらしていることが分かります。

ほかにも水族館ではプールで生き物たちが泳いでいたり、とび箱が水そうになっていたり。学校に残ったまだ使えるものを

活用していることもみりよくの一つです。夏にはきもだめしや、おとまり水族館などのイベントもしています。飼育員体験ができる小学生対象のおとまり水族館は冬にも行う予定です。子どもたちには、身近にいる生き物や自然にたくさんふれ合ってほしいと思います。

水そうになっているよ！

